

佐野遺跡緊急発掘調査報告書

佐野遺跡

(第9次)

1990年10月

長野県下高井郡
山ノ内町教育委員会

序

史跡佐野遺跡は、私たちの祖先が遠き昔からこの地に居住し、発展を遂げた文化の貴重な遺産であります。

この度、国指定地に隣接する土地に千葉県松戸市で長年在住していた当町字木出身の滝沢良夫一家が故郷へ戻り、新居を構えたいということから、緊急発掘調査を行い、記録保存することになりました。

発掘調査にあたりましては、長野県教育委員会文化課埋蔵文化財係指導主事、小林秀夫先生のご指導をいただき実施しました。

発掘調査にあたりましては顧問に金井喜久一郎先生、調査団長に金井汲次先生、調査員には山上右八・池田実男・藤沢高広の各氏の絶大なご協力を得ました。また多勢の作業員の方のご協力により無事終了することができました。

平成2年10月

山ノ内町教育委員会

教育長 谷本利夫

目 次

序

1. 遺跡としての種類・品数及び名称	1
2. 発掘した土地の所在	1
3. 土地の所有者	1
4. 当該地の範囲	1
5. 調査責任者	2
6. 調査担当者	2
7. 発掘の目的	3
8. 発掘の経過	3
9. 発掘の状況	3
(1) 発掘調査地	3
(2) 調 査	4
10. 発掘した文化財の概要	5
(1) 遺 構	5
(2) 石 器	5
(3) 土 器	7
11. 遺構・遺物の処理	7
12. 発掘調査に対する担当者の所見	7

1. 遺跡としての種類・品数及び名称

佐野遺跡 縄文時代晩期 1か所

2. 発掘した土地の所在

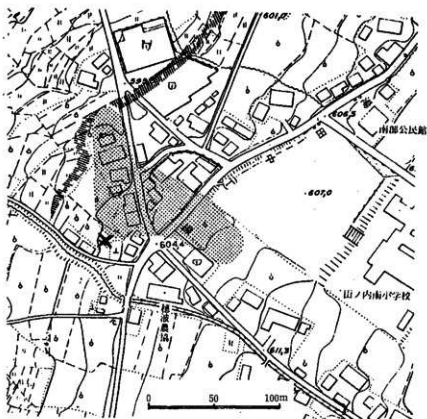
長野県下高井郡山ノ内町大字佐野616番地

3. 土地の所有者

宮崎栄人 長野県下高井郡山ノ内町大字佐野626番地

4. 当該地の範囲

地字	地番	地目	地積	備 考
谷地	616	畑	290㎡	史跡佐野遺跡（昭和51年12月25日指定）の隣接地である



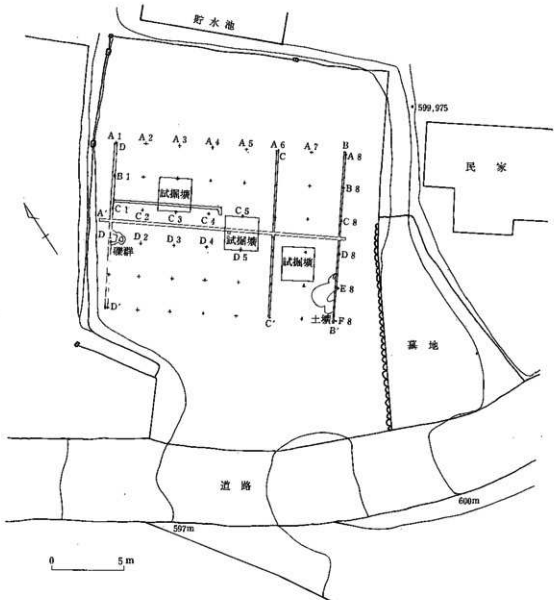
第1図 遺跡周辺図（×印発掘地）

5. 調査責任者

長野県下高井郡山ノ内町教育委員会 教育長 谷本利夫

6. 調査担当者

山ノ内町文化財保護審議委員 日本考古学協会員 金井汲次



第2図 発掘調査地及び周辺図

7. 発掘の目的

千葉県松戸市に長年在住していた滝沢良夫氏一家が故郷へ引きあげ、新居を構えたいという希望があるため、事前に記録保存のための緊急発掘調査である。

8. 発掘の経過

滝沢良夫氏から住宅新築予定の中し出があつて、平成元年11月30日県教委文化課指導主事小林秀夫氏の現地指導で、グリッド(2m×2m)5坑を設定し、試掘を行った。遺構は検出されなかったが、縄文晩期の磨滅した土器の小片(有文3片、無文51片)を検出した。とくに第1坑からは30点の土器片を得た。

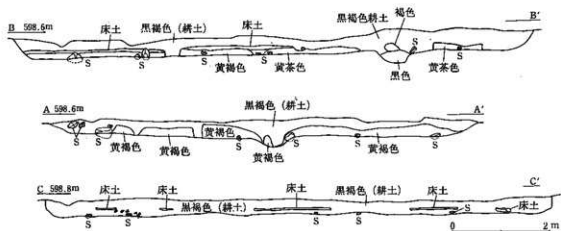
このことによって、住宅新築前に記録保存のための緊急発掘調査を実施することとした。

9. 発掘の状況

(1) 発掘調査団

発掘調査は第9次佐野遺跡発掘調査団を編成して実施した。

- 調査責任者 山ノ内町教育委員会 教育長 谷本利夫
- 顧問 山ノ内町文化財保護審議会 金井喜久一郎
- 調査団長 日本考古学協会 金井汲次
- 調査員 長野県考古学会 山上右八
長野県考古学会 池田実男
長野県考古学会 藤沢高広



第3図 地層図

○事務局 山ノ内町教委

野竹恵雄 小林貞信

渡辺千春 小林国男

宮崎律子 岩井和彦

(2) 調査

4月9日(月)晴

調査区域の草かきをし、ごみ類の片付けをすまして、35か所のグリッド(2m×2m)を設定し、杭打ちをすましてテープはりをする。午後から表土はぎを始め、E-4の地表下20cmから縄文晩期の土器片5点を検出した。このほかのグリッドで磨滅した土器片60余点を得た。測量を開始する。



第4図 磯群址

4月10日(火) 晴

B-2グリッドで黒色土の浅い落ちこみのあることを発見し、土器片10余点が出土した。E-7地点で土坑状遺構を検出した。土器片はいずれも小片で、そのほとんどは無文であった。土器片は170余点を得た。

4月11日(水) 晴

E-1の集石址の調査をすすめた。C-4グリッドには比較的大きな破片で、有文が多く、40余点の出土をみた。E-7の土坑状遺構(60cm×45cm、深さ60cm)を精査し、焼土、炭片、礫、石鏃、土器片、骨片等を検出した。本日は土器片130余点を検出する。

4月12日(木) 晴 南風

B-1、C-4、D-1・7、E-7の精査をすするとともに、写真撮影を行い、測量を完了する。遺物の取上げをすませて発掘調査の作業は終了した。土器片は270余点の検出をみた。

10. 発掘した文化財の概要

(1) 遺 構

発掘調査地は穂波農協の西方約70mの地点にあって、南側には三沢川が北へ流下し、濫乱の影響を受けた後がみられる。中世末以降のある時代に開田され削平によって地層は擾乱された。第3区は地層図で、扇状地層の複雑な層序である。

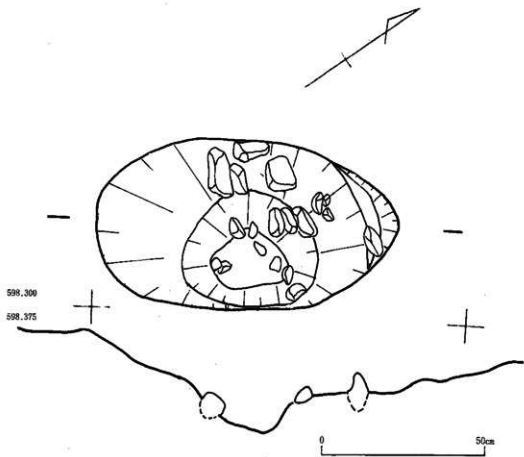
第4区はC1グリッドにおいて検出された礫群で、その中に土器片8点が混存し、礫群をめぐって浅い溝状遺構があった。第5区はE5グリッドに所在した小さな土坑状遺構で土師器小片少量があり、その下部に佐野式土器片・木炭片少量・獣骨片数点・角礫等が混在していたが、意味不明である。

(2) 石 器

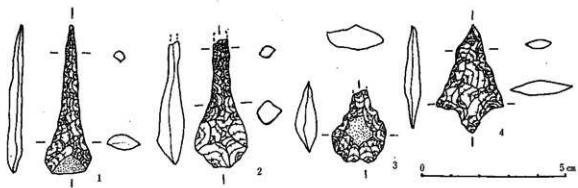
佐野遺跡は石器の出土例の多いことで知られ、特に石鏃の多いことで注目されている。ところが今回は第1表(第6図参照)に示すようにきわめて僅少であった。これは開田時の削平による影響によるものであろうか。

第1表 石器一覧表

番号	器 種	石 質	色 調	長 さ	摘 要
1	ドリル	頁 岩	灰緑色	5.2cm	完 形
2	"	"	"	4.3	先端欠損
3	ピェス・エズ・キュー	"	赤褐色	2.5	先端欠損?
4	石鏃	チャート	黒褐色	3.6	粗 製



第5图 土壇址



第6图 石器尖刻图

(3) 土 器

発掘は35グリッドを設定して調査をすすめたが10グリッド(A4、B2・5・6・7、D3・4・5、C5・7)からは遺物の検出は皆無であった。遺物の出土をみた25グリッドからは縄文晩期の土器片658点と石器4点を得たが、土器片を復元して器形を知ることができるものは1点もなかった。第7図～9図は土器片の拓影図である。内容は口縁部23点、胴部27点、底部6点の計56点を示し、次の第2表にはその概要を示したものである。

11. 遺構・遺物の処置

礎群址と土壌は写真撮影を実施し、実測図をとって記録保存をはかり、後日現状を変更した(店舗兼住宅新築)。遺物は実測図・拓影図を作るとともに写真撮影後山ノ内町文化センターの収蔵庫に保管した。

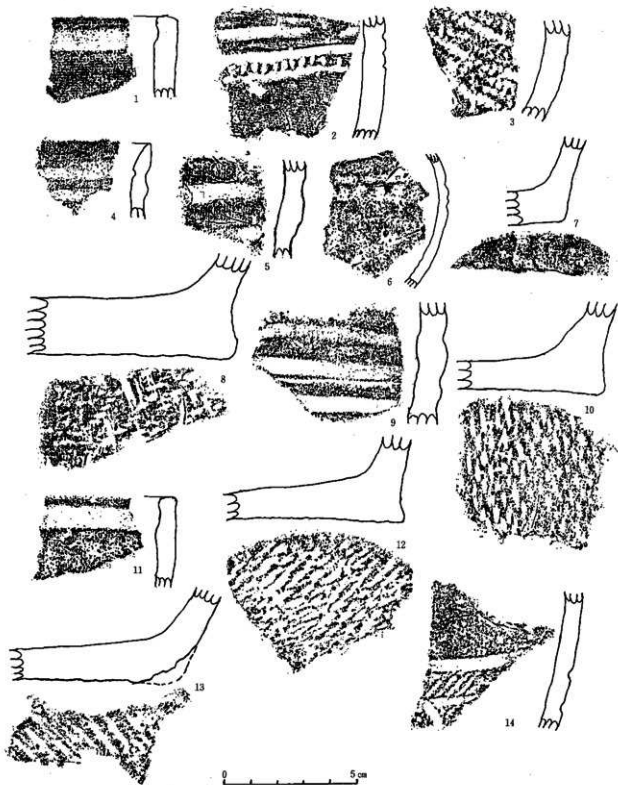
12. 発掘調査に対する担当者の所見

発掘調査地は第1図に見るように国史跡佐野遺跡(昭和51年12月25日指定)に隣接し、昭和50年夏の遺跡範囲確認調査の折には、北隣から土偶の顔面が検出されていることから調査は期待をもって実施した。しかし開田の削平と、その後のリング栽培・モモ栽培によって攪乱されたため、前述のような成果で終了した。遺構はみるべきものはなかったが、遺物(土器片)は658点を検出し、そのうち58点は有文であった。有文土器片は拓影と写真で提出したが、割合に好資料で、縄文晩期の佐野式土器の研究に役立つものと思われる。

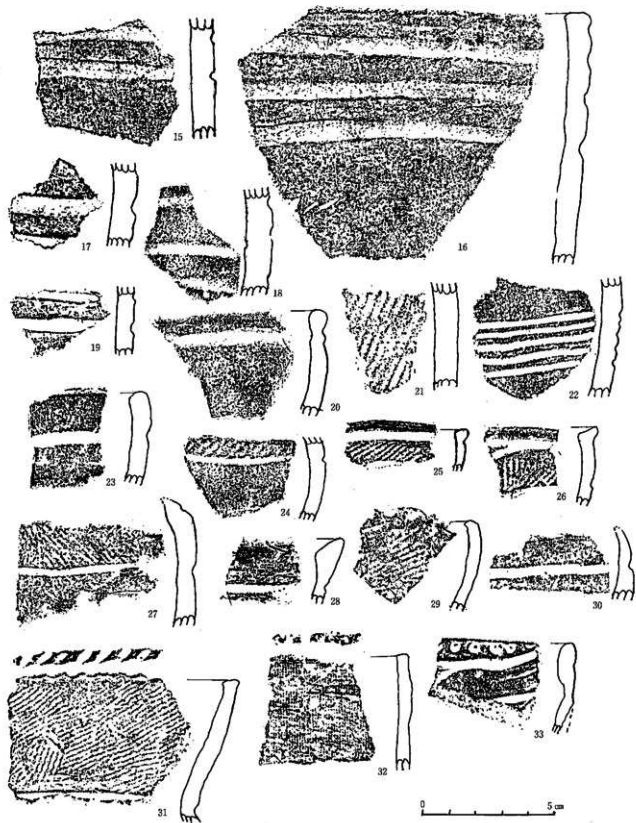
第2表 有文土器片一覽表

番号	出			土		胎土	焼成	色		調	描	要
	月日	地点	口縁	刷	底			内	外			
1	11.30	No.1	⊖			良好	良	褐	褐			口唇内側に浅い段あり
2	#	#		○		良	#	茶	茶			外側磨研
3	#	#		○		普通	普通	褐	褐			
4	#	2	⊖			良	良	#	#			
5	#	4		○		普通	普通	黄褐	黄褐			少し砂粒を含む
6	4.10	A-1		○		良好	良好	灰青	灰青			少し磨減
7	12	B-2		○		普通	普通	褐	褐			
8	10	B-3		○		#	#	#	#			
9	#	C-1		○		#	#	#	#			外側に煤付着
10	12	#		⊕		#	#	#	#			
11	10	C-2	⊖			#	#	#	#			内側に沈藻文
12	#	#			⊕	#	#	#	#			
13	#	#			⊖	#	#	#	#			
14	9	C-4		○		良	良	暗褐	黒			
15	10	D-4		○		#	#	褐	褐			内側に粘土糊痕
16	#	D-7		○		#	#	黒	暗褐			
17	11	E-7		○		普通	普通	褐	#			
18	#	#	⊖			#	#	#	#			
19	#	#		○		#	#	#	#			外側に煤付着
20	9	E-7	⊖			#	#	#	#			外側磨研
21	10	E-6		○		良	良	#	#			
22	#	E-7	⊖			#	#	#	暗褐			内側に沈藻
23	#	#	⊖			#	#	黄褐	黒			
24	#	#		○		#	#	暗褐	#			
25	#	#	⊖			#	#	黄褐	褐			
26	#	#	⊖			普通	普通	黒褐	黒			雲母を含む
27	#	#	⊖			#	#	褐	褐			
28	12	#	⊖			#	#	#	暗褐			
29	#	#	⊖			#	#	#	褐			
30	#	#	⊖			#	#	#	#			
31	#	#	⊕			良	良	#	#			
32	#	#	⊕			#	#	黒	黒			内側に炭化物付着
33	#	#	⊖			#	#	褐	褐			口唇外側に竹管文
34	#	#	⊖			#	#	#	#			
35	#	#	⊖			#	#	#	#			
36	#	#	⊖			#	#	#	#			
37	#	#	⊖			#	#	#	#			
38	#	#	⊖			#	#	#	#			
39	#	#	⊕			#	#	黒	黒			雲母を含む
40	#	#		○		#	#	#	暗褐			
41	#	#	⊖			#	#	黄褐	褐			注口片?
42	#	#		○		#	#	黒	#			
43	#	#		○		良好	#	赤褐	褐			内側磨研
44	#	#		○		良	普通	褐	褐			
45	#	#		○		普通	普通	#	#			
46	#	#		○		#	#	#	#			
47	#	#		○		#	#	暗褐	黒褐			
48	#	#		○		良	良	黒	黒			内側に炭化物付着
49	#	#		○		#	#	#	#			
50	#	#		○		#	#	褐	褐			
51	#	#		○		#	#	黒	黒褐			
52	#	#		○		#	#	#	#			
53	#	#		○		#	#	暗褐	#			
54	#	#		○		#	#	黒	黒			
55	#	#		○		#	#	#	#			
56	#	#		○		#	#	褐	暗褐			
57	#	#		○		#	#	#	#			雲母を含む
58	#	#			⊕	#	#	#	#			

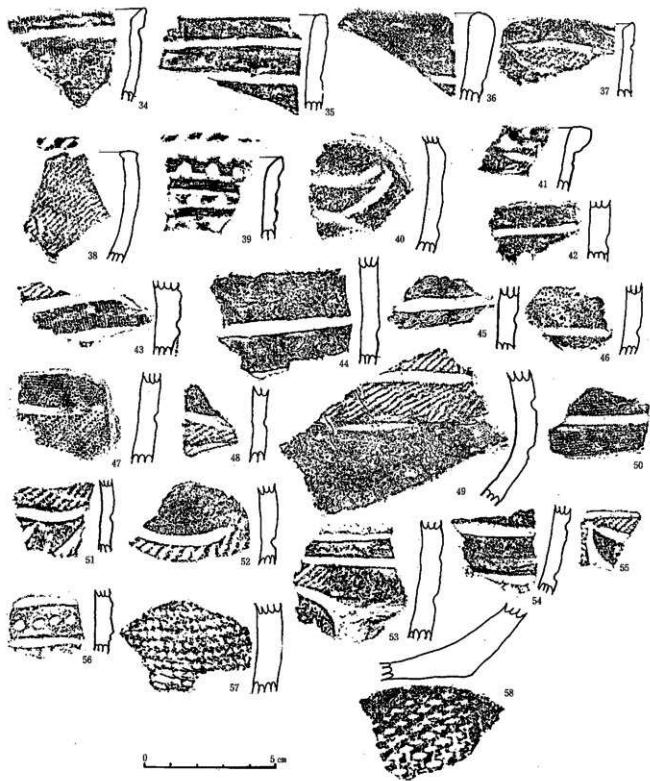
注 ⊖水平口縁 ⊕波状口縁 ⊕縄代文底 ⊖籠状文底



第7圖 土器拓影圖



第 8 圖 土器拓影圖



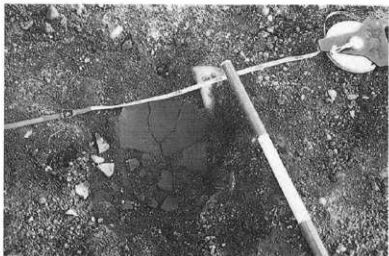
第9圖 土器拓影圖



発掘地全景



発掘風景



E-7 埋没状態の土器片



E-7 土壙状遺構



E-1 集合址

佐野遺跡

(第9次)

発行日 平成2年(1990)10月30日

発行者 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏3352-1
山ノ内町教育委員会

印刷 長野市柳原2133-5
ほおずき書籍株式会社

